

化学工学会エネルギー部会 平成18年度 夏季セミナーシリーズ 第1回 「みちのく八戸市の挑戦 - マイクログリッドと環境技術 」 開催報告

日時：平成18年6月30日(金)～7月1日(土)

藤岡恵子、企画担当、エネルギー部会熱利用分科会副代表

第一日(6月30日)：

午後より、八戸市 NEDO 新エネルギー等地域集中実証研究「水の流れを電気で返すプロジェクト」の主要拠点である東部終末処理場のプロジェクト施設、ならびに「あおもりエコタウン企業」メンバー東北東京鐵鋼株式会社のリサイクル施設見学。

第二日(7月1日)：

午前 9 時よりシーガルビューホテルにて、毛利邦彦氏(株式会社 eL-Power Technology 取締役技術部長、八戸インテリジェントプラザ スーパーバイザー・八戸市産業技術顧問)による「マイクログリッドと八戸市民エネルギー会社構想」、山川佳久氏(三機工業株式会社環境システム事業部環境事業推進室グループマネージャー)による「八戸における廃棄物発電と熱の有効利用」-低温排熱を熱源とする未利用エネルギー利用技術 TransHeat Container-の2件のご講演会とディスカッションを行いました。



毛利邦彦氏



山川佳久氏

毛利氏を迎えての総合ディスカッションでは、マイクログリッドの経済的自立の鍵として良い需要家を集める、需要側のビジネスモデル構築、エネルギー技術だけでなく Web 監視など IT 技術も組み込んだマイクログリッドのシステム活用、新エネルギー導入についての心の経済学など技術的問題にとどまらない多彩なキーワードのもとに市民エネルギー会社とマイクログリッド、熱有効利用の可能性について縦横に議論が展開されました。エネルギー技術にたずさわる者として、たいへん刺激になる 2 日間でした。



講師を囲んでの参加者の皆様



東部終末処理場での見学



東北東京鐵鋼株式会社のリサイクル施設見学